育苗箱施用での一般的な注意事項

育苗箱施用により防除するときには次の事項を守る。

(1) 薬剤により施用量及び使用回数が異なるので、使用前に必ず確認する。

(2) 育苗箱施用は葉に露のない時に行い、施用後、葉に薬剤がついているときは払い落とす。床土が湿り過ぎていたら水をよく切ってから散布し、施用後に十分かん水する。

(3) 緑化不十分な苗や軟弱徒長した苗には薬害がでやすいので使用を避ける。

(4) 育苗箱の薬剤施用は、決められた施用時期を守らないと薬害が出やすいので注意する。

(5) 育苗箱に薬剤施用した苗は、田植後水が不足して、田面が露出すると薬害が出やすいので十分かん水しておく。

(6) 育苗箱施用剤は施用量を守り、田植後は水田の水が直接河川に流れ出ないように7日間程度湛水状態に保ち、落水、かけ流しはしない。

a) ウィンを含む薬剤はピーマン・シシトウに薬害を生じるため、近接で使用しない。

b) 本県ではMBI-D剤耐性いもち病菌が発生している。また、近年、他県ではQoI剤耐性いもち病菌が発生し問題となっている。本県でも発生が懸念されるため、耐性菌の発生リスクが高い薬剤を使用する場合は、連用を避けるなど適切に使用する。

詳細は、

日本植物病理学会殺菌剤耐性菌研究会「イネいもち病防除におけるQoI 剤及びMBI-D 剤耐性菌対策ガイドライン（http://www.taiseikin.jp/guidelines/）」を参照する。

稲（育苗箱）：単剤（殺菌剤）　　令和7年1月31日現在

農薬名	農薬種類名	回数	使用量・方法	使用時期	いもち病	いもち病（苗いもち）	褐条病	ごま葉枯病	白葉枯病	苗立枯細菌病	苗立枯病（リゾクトニア菌）	苗立枯病（ピシウム菌）	苗立枯病（リゾープス菌）	苗立枯病（トリコデルマ菌）	苗立枯病（フザリウム菌）	苗立枯病（白絹病菌）	もみ枯細菌病	幼苗腐敗症（もみ枯細菌病菌）	幼苗腐敗症（イネもみ枯細菌病菌）
オリゼメート粒剤	プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり20～30g	移植3日前～移植前日	○				○								○		
カスミン液剤	カスガマイシン液剤	1回	4～8倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり希釈液50ミリリットル	覆土前		○	○			○									○
カスミン粒剤	カスガマイシン粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり30g	は種前			○			○								○	
			育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり15～20g	覆土前			○			○								○	
			育苗箱（30×60×3cm、覆土約1リットル）覆土1リットルあたり15～20g	覆土前			○			○								○	
ダコニール1000	TPN水和剤	2回以内	1000～2000倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり1リットル	は種時～緑化期（但し、は種14日後まで）									○						
			500～1000倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり500ミリリットル	は種時～緑化期（但し、は種14日後まで）									○						
ダコニール粉剤	TPN粉剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり15～20g	は種前									○						
タチガレン液剤	ヒドロキシイソキサゾール液剤	1回	1000倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり1リットル	は種時				○											
			500倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり500ミリリットル	は種時				○											
		2回以内	1000倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり1リットル	は種時又は発芽後								○			○				
			500～1000倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり500ミリリットル	は種時又は発芽後								○			○				
タフブロック	タラロマイセス　フラバス水和剤	–	200倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり希釈液200ミリリットルを土壌灌注する。	は種時覆土前									○						
ナエファインフロアブル	ピカルブトラゾクス水和剤	2回以内	1000倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり0.5リットル	は種時									○		○				
			2000倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり0.5～1リットル	は種時								○	○		○				
			1000～2000倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり0.5リットル	は種時から緑化期								○							

農薬名	農薬種類名	回数	使用量・方法	使用時期	いもち病	いもち病（苗いもち）	褐条病	ごま葉枯病	白葉枯病	苗立枯細菌病	苗立枯病（リゾクトニア菌）	苗立枯病（ピシウム菌）	苗立枯病（リゾープス菌）	苗立枯病（トリコデルマ菌）	苗立枯病（フザリウム菌）	苗立枯病（白絹病菌）	もみ枯細菌病	幼苗腐敗症（もみ枯細菌病菌）	幼苗腐敗症（イネもみ枯細菌病菌）
ナエファイン粉剤	ピカルブトラゾクス粉剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり6～8g	は種前								○	○		○				
バリダシン液剤	バリダマイシン液剤	1回	500倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり500ミリリットル	は種時～発病初期							○					○			
フジワン粒剤	イソプロチオラン粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50～75g	苗の緑化期～移植直前まで	○														
ベンレート水和剤	ベノミル水和剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり1g	は種前	○														
		2回以内	1000倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり1リットル	は種時～は種7日後頃	○														
				は種時1回又はは種時とは種7日後頃の2回										○					
			500～1000倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり500ミリリットル	は種時											○				
				は種時～は種14日後まで	○														
				は種時1回又はは種時とは種7日後頃の2回										○					

＊「高密度に播種する場合」については、農薬ごとの適用状況及び使用量をご確認ください。

稲（育苗箱）：単剤（殺虫剤）　　令和7年1月31日現在

農薬名	農薬種類名	回数	使用量・方法	使用時期	ウンカ類	セジロウンカ	ヒメトビウンカ	イネシンガレセンチュウ	イネミズゾウムシ	イネドロオイムシ	コブノメイガ	ニカメイチュウ	フタオビコヤガ	ツマグロヨコバイ	イネツトムシ
アレス箱粒剤	オキサゾスルフィル粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前	○				○	○	○	○	○	○	○
				は種時（覆土前）～移植当日	○				○	○	○	○	○	○	○
ガゼット粒剤	カルボスルファン粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり40～70g	移植前3日～移植当日					○	○					
			育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50～70g				○							○	
			育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり70g					○							
グランドオンコル粒剤	ベンフラカルブ粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植3日前～移植当日		○	○	○	○	○		○		○	○
				移植当日									○		
ゼロカウント粒剤	スピノサド粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前						○					
				は種時（覆土前）～移植当日						○			○		
				移植2日前～移植当日								○			○
フェルテラ箱粒剤	クロラントラニリプロール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前					○	○	○	○	○		○
				は種時覆土前～移植当日					○	○	○	○	○		○
				移植当日										○	
プリンス粒剤	フィプロニル粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前	○				○	○	○	○			○
				は種時（覆土前）				○							
				は種時（覆土前）～移植当日	○				○	○	○	○	○		○
ワンリード箱粒剤08	クロチアニジン粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前	○				○	○				○	
				は種時覆土前～移植当日	○				○	○				○	

＊　「高密度には種する場合」については、農薬ごとの適用状況及び使用量をご確認ください。

稲（育苗箱）：混合剤　　令和7年1月31日現在

農薬名	農薬種類名	回数	使用量・方法	使用時期	いもち病	白葉枯病	内穎褐変病	苗立枯細菌病	苗立枯病（ピシウム菌）	苗立枯病（フザリウム菌）	苗腐敗症（もみ枯細菌病菌）	穂枯れ（ごま葉枯病菌）	もみ枯細菌病	紋枯病	稲こうじ病	ウンカ類	イネミズゾウムシ	イネドロオイムシ	コブノメイガ	ニカメイチュウ	フタオビコヤガ	ツマグロヨコバイ	イネツトムシ
Dr. オリゼスタークル箱粒剤OS	ジノテフラン・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○											○	○	○			○	○	
Dr. オリゼフェルテラ粒剤	クロラントラニリプロール・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	緑化期～移植当日	○												○	○		○	○	○	○
				移植3日前～移植当日		○	○						○										
				移植当日															○				
Dr. オリゼプリンス粒剤10	フィプロニル・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり30g	移植3日前～移植当日	○													○					
			育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	緑化期～移植当日	○	○							○			○	○	○	○	○			○
				移植3日前～移植当日			○																
				移植当日								○											
Dr. オリゼリディア箱粒剤	フルピリミン・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植7日前～移植当日	○	○										○	○	○				○	
				移植3日前～移植当日			○						○							○	○		○
				移植当日								○											
アンコール箱粒剤	クロラントラニリプロール・トリフルメゾピリム・トリシクラゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○											○	○	○	○	○	○	○	○
オリゼメートプリンス粒剤	フィプロニル・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○											○	○	○	○	○			○
ゴウケツバスター箱粒剤	ジノテフラン・トルプロカルブ粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○	○	○						○			○	○	○		○	○	○	
スクラム箱粒剤	クロラントラニリプロール・トリフルメゾピリム・イソチアニル・ペンフルフェン粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種時覆土前～移植当日	○									○		○			○		○	○	
				移植3日前～移植当日		○	○					○	○				○	○		○			○
スタウトアレス箱粒剤	オキサゾスルフィル・イソチアニル粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前	○	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
				は種時（覆土前）				○			○												
				は種時（覆土前）～移植当日	○	○	○					○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
スタウトアレスモンガレス箱粒剤	オキサゾスルフィル・イソチアニル・インピルフルキサム粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種時（覆土前）				○			○												
				は種時（覆土前）～移植当日	○	○	○					○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
スタウトダントツ箱粒剤	クロチアニジン・イソチアニル粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前	○	○	○	○			○	○	○			○	○	○		○	○	○	
				は種時（覆土前）				○			○												
				は種時（覆土前）～移植当日	○	○	○					○	○			○	○	○		○	○	○	
スタウトパディート箱粒剤	シアントラニリプロール・イソチアニル粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前	○	○	○	○			○	○	○				○	○	○	○	○	○	○
				は種時（覆土前）				○			○												
				は種時（覆土前）～移植当日	○	○	○					○	○				○	○	○	○	○	○	○

農薬名	農薬種類名	回数	使用量・方法	使用時期	いもち病	白葉枯病	内穎褐変病	苗立枯細菌病	苗立枯病（ピシウム菌）	苗立枯病（フザリウム菌）	苗腐敗症（もみ枯細菌病菌）	穂枯れ（ごま葉枯病菌）	もみ枯細菌病	紋枯病	稲こうじ病	ウンカ類	イネミズゾウムシ	イネドロオイムシ	コブノメイガ	ニカメイチュウ	フタオビコヤガ	ツマグロヨコバイ	イネツトムシ
タチガレエースM液剤	ヒドロキシイソキサゾール・メタラキシルM液剤	1回	1000倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり1リットル	は種時					○	○													
			500～1000倍、育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり500ミリリットル	は種時又は発芽後					○	○													
タチガレエースM粉剤	ヒドロキシイソキサゾール・メタラキシルM粉剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり6～8g	は種前					○	○													
ダントツオリゼメート10箱粒剤	クロチアニジン・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○											○	○	○		○		○	
ツインターボフェルテラ箱粒剤	クロチアニジン・クロラントラニリプロール・イソチアニル粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前	○	○	○					○											
				は種時（覆土前）							○												
				は種時（覆土前）～移植当日	○	○	○					○				○	○	○	○	○	○	○	○
ツインターボ箱粒剤08	クロチアニジン・イソチアニル粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前	○	○	○	○			○	○	○			○	○	○				○	
				は種時（覆土前）				○			○												
				は種時（覆土前）～移植当日	○	○	○					○	○			○	○	○				○	
ツインパディート箱粒剤	シアントラニリプロール・イソチアニル粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前	○	○	○	○			○	○	○				○	○	○	○	○	○	○
				は種時（覆土前）				○			○												
				は種時（覆土前）～移植当日	○	○	○					○	○				○	○	○	○	○	○	○
トリプルキック箱粒剤	シアントラニリプロール・シメコナゾール・トルプロカルブ粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○	○	○					○	○	○	○		○	○		○	○		○
ビームパディート箱粒剤	シアントラニリプロール・トリシクラゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○												○	○	○	○	○		○
ビームプリンス粒剤	フィプロニル・トリシクラゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○											○	○	○	○	○			○
ピカピカ粒剤	フィプロニル・イソプロチオラン・ピロキロン粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○											○	○	○	○	○			
ビルダースタークル箱粒剤	ジノテフラン・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	緑化期～移植当日	○											○						○	
				移植3日前～移植当日		○							○				○	○		○			
ビルダーフェルテラチェスGT粒剤	クロラントラニリプロール・ピメトロジン・チフルザミド・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	緑化期～移植当日	○									○		○			○			○	
				移植3日前～移植当日													○						
ビルダープリンスグレータム粒剤	フィプロニル・チフルザミド・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	緑化期～移植当日	○									○		○			○	○			○
				移植3日前～移植当日		○	○					○	○				○	○					
ファーストオリゼプリンス粒剤10	フィプロニル・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種時（覆土前）	○	○	○					○	○			○	○	○	○	○			○
ブイゲットプリンス粒剤10	フィプロニル・チアジニル粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	緑化期～移植当日	○	○										○	○	○	○	○			○
				移植当日			○						○										

農薬名	農薬種類名	回数	使用量・方法	使用時期	いもち病	白葉枯病	内穎褐変病	苗立枯細菌病	苗立枯病（ピシウム菌）	苗立枯病（フザリウム菌）	苗腐敗症（もみ枯細菌病菌）	穂枯れ（ごま葉枯病菌）	もみ枯細菌病	紋枯病	稲こうじ病	ウンカ類	イネミズゾウムシ	イネドロオイムシ	コブノメイガ	ニカメイチュウ	フタオビコヤガ	ツマグロヨコバイ	イネツトムシ
ブーンアレス箱粒剤	オキサゾスルフィル・ジクロベンチアゾクス粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前	○	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
				は種時（覆土前）				○			○												
				は種時（覆土前）～移植当日	○	○	○					○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
ブーンゼクテラ箱粒剤	クロラントラニリプロール・トリフルメゾピリム・ジクロベンチアゾクス粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前	○											○							
				は種時（覆土前）				○			○												
				は種時（覆土前）～移植当日	○	○	○					○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
ブーンレパード箱粒剤	テトラニリプロール・ジクロベンチアゾクス・ペンフルフェン粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前	○									○			○	○		○	○		
				は種時（覆土前）～移植当日	○									○			○	○	○	○	○		○
				移植当日		○	○					○	○									○	
フジワンプリンス粒剤	フィプロニル・イソプロチオラン粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	緑化期～移植当日	○											○	○	○	○	○			○
フルサポート箱粒剤	イミダクロプリド・スピノサド・チフルザミド・トリシクラゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植2日前～当日	○									○		○	○	○	○	○	○	○	○
フルスロットル箱粒剤	シアントラニリプロール・トリフルメゾピリム・イソチアニル・ペンフルフェン粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種時（覆土前）～移植当日	○	○							○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
				移植当日			○					○											
フルターボ箱粒剤	クロチアニジン・クロラントラニリプロール・イソチアニル・フラメトピル粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○	○	○					○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
ルーチンデュオ箱粒剤	シアントラニリプロール・イソチアニル粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前	○	○	○	○			○	○	○				○	○	○	○	○	○	○
				は種時（覆土前）				○			○												
				は種時（覆土前）～移植当日	○	○	○					○	○				○	○	○	○	○	○	○
ロングリーチ箱粒剤	ジノテフラン・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○											○	○	○			○	○	
ワンリードSP箱粒剤	クロチアニジン・スピネトラム粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前												○	○	○	○	○	○	○	○
				は種時（覆土前）～移植当日												○	○	○	○	○	○	○	○
箱いり娘粒剤	クロチアニジン・スピネトラム・イソチアニル・フラメトピル粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	移植7日前～移植当日	○	○	○					○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
箱王子粒剤	クロチアニジン・スピネトラム・イソチアニル粒剤	1回	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5リットル）1箱あたり50g	は種前	○	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
				は種時（覆土前）				○			○												
				は種時（覆土前）～移植当日	○	○	○					○	○			○	○	○	○	○	○	○	○

＊「高密度に播種する場合」については、農薬ごとの適用状況及び使用量をご確認ください。